

## 第266回治験審査委員会

### 【会議の記録の概要】

開催日時	2019年04月05日 17時00分～17時50分
開催場所	西棟3階 会議室3-1
出席委員	小松 陽樹、山田 哲弘、山口 崇、増田 雅行、高橋 初枝、内野 卯津樹、真坂 亙、春木 信一、高石 健司、織田 泰暢、大野 直道
欠席委員	吉田 友英、神谷 直人、坂本 理之、村野 武義
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題1. 武田薬品工業株式会社の依頼によるクローン病の治療における、MLN0002 (300mg) の第3相試験 (整理番号: 25-15) 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果: 承認</p> <p>議題2. 武田薬品工業株式会社の依頼によるクローン病の治療における、MLN0002 (300mg) の第3相試験 (整理番号: 25-15) 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果: 承認</p> <p>議題3. 武田薬品工業株式会社の依頼によるクローン病の治療における、MLN0002 (300mg) の第3相試験 (整理番号: 25-15) 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果: 承認</p> <p>議題4. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3 Randomized, Placebo-controlled Double-blind Study of JNJ-56021927 in Combination with Abiraterone Acetate and Prednisone Versus Abiraterone Acetate and Prednisone in Subjects with Chemotherapy-naive Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer (mCRPC) 化学療法未治療の転移性去勢抵抗性前立腺癌 (mCRPC) 患者を対象としたJNJ-56021927 とアビラテロン酢酸エステル+プレドニゾンの併用とアビラテロン酢酸エステル+プレドニゾンを比較する第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験 (整理番号: 27-4) 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果: 承認 ・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題5. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3 Randomized, Placebo-controlled Double-blind Study of JNJ-56021927 in Combination with Abiraterone Acetate and Prednisone Versus Abiraterone Acetate and Prednisone in Subjects with Chemotherapy-naive Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer (mCRPC) 化学療法未治療の転移性去勢抵抗性前立腺癌 (mCRPC) 患者を対象としたJNJ-56021927 とアビラテロン酢酸エステル+プレドニゾンの併用とアビラテロン酢酸エステル+プレドニゾンを比較する第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験 (整理番号: 27-4) 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>

審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題6. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3 Randomized, Placebo-controlled Double-blind Study of JNJ-56021927 in Combination with Abiraterone Acetate and Prednisone Versus Abiraterone Acetate and Prednisone in Subjects with Chemotherapy-naive Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer (mCRPC) 化学療法未治療の転移性去勢抵抗性前立腺癌 (mCRPC) 患者を対象としたJNJ-56021927 とアビラテロン酢酸エステル+プレドニゾンの併用とアビラテロン酢酸エステル+プレドニゾンを比較する第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験 (整理番号：27-4)  
同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題7. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Safety and Efficacy of Ustekinumab Induction and Maintenance Therapy in Subjects with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis  
中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたUstekinumabによる寛解導入療法及び寛解維持療法の安全性及び有効性評価を目的とした第Ⅲ相、多施設共同、プラセボ対照二重盲検比較試験 (整理番号：27-8)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題8. アラガン・ジャパン株式会社の依頼によるAMD患者を対象としたAbicipar Pegolの第Ⅲ相試験 (整理番号：27-10)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題9. アラガン・ジャパン株式会社の依頼によるAMD患者を対象としたAbicipar Pegolの第Ⅲ相試験 (整理番号：27-10)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題10. アラガン・ジャパン株式会社の依頼によるAMD患者を対象としたAbicipar Pegolの第Ⅲ相試験 (整理番号：27-10)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題11. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による転移性ホルモン感受性前立腺癌 (mHSPC) 患者を対象としたapalutamide+アンドロゲン除去療法 (ADT) とADT を比較するランダム化、プラセボ対照、二重盲検第3相試験 (整理番号：27-11)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題12. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による転移性ホルモン感受性前立腺癌 (mHSPC) 患者を対象としたapalutamide+アンドロゲン除去療

法（ADT）とADTを比較するランダム化、プラセボ対照、二重盲検第3相試験（整理番号：27-11）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題13. 武田薬品工業株式会社の依頼によるVedolizumab皮下注製剤の非盲検長期継続投与試験（整理番号：27-13）

治験期間が3年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題14. 武田薬品工業株式会社の依頼によるVedolizumab皮下注製剤の非盲検長期継続投与試験（整理番号：27-13）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題15. アステラス製薬株式会社の依頼によるアステラス製薬依頼の前立腺癌を対象とするエンザルタミドの第Ⅲ相試験（整理番号：27-14）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題16. アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能なステージⅣ尿路上皮癌患者を対象とする一次療法としてのMED14736単剤療法及びtremelimumabとの併用療法を標準治療の化学療法と比較する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化非盲検比較対照試験（整理番号：28-3）

治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題17. アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能なステージⅣ尿路上皮癌患者を対象とする一次療法としてのMED14736単剤療法及びtremelimumabとの併用療法を標準治療の化学療法と比較する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化非盲検比較対照試験（整理番号：28-3）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題18. アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能なステージⅣ尿路上皮癌患者を対象とする一次療法としてのMED14736単剤療法及びtremelimumabとの併用療法を標準治療の化学療法と比較する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化非盲検比較対照試験（整理番号：28-3）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題19. アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能なステージⅣ尿路上皮癌患者を対象とする一次療法としてのMED14736単剤療法及びtremelimumabとの併用療法を標準治療の化学療法と比較する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化非盲検比較対照試験（整理番号：28-3）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を

施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題20. アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能なステージIV尿路上皮癌患者を対象とする一次療法としてのMED14736単剤療法及び tremelimumabとの併用療法を標準治療の化学療法と比較する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化非盲検比較対照試験（整理番号：28-3）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題21. アストラゼネカ株式会社の依頼による切除不能なステージIV尿路上皮癌患者を対象とする一次療法としてのMED14736単剤療法及び tremelimumabとの併用療法を標準治療の化学療法と比較する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化非盲検比較対照試験（整理番号：28-3）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題22. MSD株式会社の依頼によるMSD株式会社 MK3475の第Ⅱ相試験（整理番号：28-4）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題23. MSD株式会社の依頼によるMSD株式会社 MK3475の第Ⅱ相試験（整理番号：28-4）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題24. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の導入療法及び維持療法における安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験（整理番号：28-11）

同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題25. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の導入療法及び維持療法における安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験（整理番号：28-11）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題26. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の導入療法及び維持療法における安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験（整理番号：28-11）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題27. アッヴィ合同会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相多施設共同長期継続投与試験（整理番号：28-12）

治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題28. アッヴィ合同会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相多施設共同長期継続投与試験（整理番号：28-12）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題29. アッヴィ合同会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相多施設共同長期継続投与試験（整理番号：28-12）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題30. 武田薬品工業株式会社の依頼によるクローン病の維持療法におけるvedolizumab皮下注製剤の有効性及び安全性（整理番号：28-13）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題31. バイエル薬品株式会社の依頼による転移性ホルモン感受性前立腺癌患者を対象としたdarolutamide（ODM-201）のプラセボ対照第Ⅲ相試験（整理番号：28-15）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題32. バイエル薬品株式会社の依頼による転移性ホルモン感受性前立腺癌患者を対象としたdarolutamide（ODM-201）のプラセボ対照第Ⅲ相試験（整理番号：28-15）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題33. バイエル薬品株式会社の依頼による転移性ホルモン感受性前立腺癌患者を対象としたdarolutamide（ODM-201）のプラセボ対照第Ⅲ相

試験（整理番号：28-15）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題34. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの第Ⅲ相試験（整理番号：29-1）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題35. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象とするFilgotinibの継続投与試験（整理番号：29-2）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題36. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるギリアド・サイエンズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの第Ⅱ/Ⅲ相試験（整理番号：29-3）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題37. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるギリアド・サイエンズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験（整理番号：29-4）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題38. アストラゼネカ株式会社の依頼によるアストラゼネカ株式会社の依頼による転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象としたAZD2281の第Ⅲ相試験（整理番号：29-5）

治験期間が2年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題39. アストラゼネカ株式会社の依頼によるアストラゼネカ株式会社の依頼による転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象としたAZD2281の第Ⅲ相試験（整理番号：29-5）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題40. アストラゼネカ株式会社の依頼によるアストラゼネカ株式会社の依頼による転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象としたAZD2281の第Ⅲ相試験（整理番号：29-5）

- 治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題41. アストラゼネカ株式会社の依頼によるアストラゼネカ株式会社の依頼による転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象としたAZD2281の第Ⅲ相試験（整理番号：29-5）  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題42. 【医師主導治験】鈴木 康夫による難治性潰瘍性大腸炎を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験 Phase II（整理番号：29-6）  
治験期間が2年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題43. 【医師主導治験】鈴木 康夫による難治性潰瘍性大腸炎を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験 Phase II（整理番号：29-6）  
治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題44. 中外製薬株式会社の依頼による中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab) の第Ⅲ相試験（整理番号：29-7）  
治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題45. 中外製薬株式会社の依頼による中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたMPDL3280A (atezolizumab) の第Ⅲ相試験（整理番号：29-7）  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題46. 中外製薬株式会社の依頼による中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたR05532961 (Ipatasertib) の第Ⅲ相試験（整理番号：29-8）  
治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 議題47. 中外製薬株式会社の依頼による中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたR05532961 (Ipatasertib) の第Ⅲ相試験（整理番号：29-8）  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題48. 中外製薬株式会社の依頼による中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたR05532961 (Ipatasertib) の第Ⅲ相試験 (整理番号: 29-8)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題49. 中外製薬株式会社の依頼による中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象としたR05532961 (Ipatasertib) の第Ⅲ相試験 (整理番号: 29-8)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題50. 株式会社新日本科学PPDの依頼によるMyovant社からの依頼による進行性前立腺癌の男性患者を対象としたRelugolixの安全性と有効性を評価するための第3相試験 (整理番号: 29-10)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題51. 株式会社新日本科学PPDの依頼によるMyovant社からの依頼による進行性前立腺癌の男性患者を対象としたRelugolixの安全性と有効性を評価するための第3相試験 (整理番号: 29-10)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題52. EAファーマ株式会社の依頼による中等症の日本人活動期潰瘍性大腸炎患者を対象としたE6007の臨床第2相, プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験 (整理番号: 29-11)

治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題53. ファイザー株式会社の依頼によるファイザー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたCP-690, 550の第Ⅲb/Ⅳ相試験 (整理番号: 29-13)

治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題54. ファイザー株式会社の依頼によるファイザー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたCP-690, 550の第Ⅲb/Ⅳ相試験 (整理番号: 29-13)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題55. ファイザー株式会社の依頼によるファイザー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたCP-690, 550の第Ⅲb/Ⅳ相試験 (整理番号: 29-13)



番号：29-13)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題56. ファイザー株式会社の依頼によるファイザー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたCP-690, 550の第Ⅲb/Ⅳ相試験（整理番号：29-13）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題57. アッヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたupadacitinib (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：29-14）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題58. アッヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたupadacitinib (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：29-14）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題59. アッヴィ合同会社の依頼による既存治療に対して効果不十分又は不耐容であるが生物学的製剤での治療失敗歴のない、中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたupadacitinib (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する対施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：29-15）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題60. アッヴィ合同会社の依頼による既存治療に対して効果不十分又は不耐容であるが生物学的製剤での治療失敗歴のない、中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたupadacitinib (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する対施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：29-15）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題61. アッヴィ合同会社の依頼によるM14-431試験又はM14-433試験を完了したクローン病患者を対象としたupadacitinib (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験（整理番号：29-16）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を

施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題62. アッヴィ合同会社の依頼によるM14-431試験又はM14-433試験を完了したクローン病患者を対象としたupadacitinib (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験 (整理番号：29-16)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題63. 田辺三菱製薬株式会社の依頼による田辺三菱製薬による糖尿病性腎症第3期 (顕性腎症期) 患者を対象としたTA-7284の第Ⅲ相試験 (整理番号：29-17)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・山口 崇委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題64. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験 (整理番号：30-1)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題65. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験 (整理番号：30-1)

治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題66. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験 (整理番号：30-1)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題67. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験 (整理番号：30-1)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認  
・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題68. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-006試験又はM15-991試験の

導入療法で改善した；若しくはM15-989試験を完了したクローン病患者を対象として, risankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：30-2）

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題69. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-006試験又はM15-991試験の導入療法で改善した；若しくはM15-989試験を完了したクローン病患者を対象として, risankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：30-2）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題70. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-006試験又はM15-991試験の導入療法で改善した；若しくはM15-989試験を完了したクローン病患者を対象として, risankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：30-2）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題71. フェリング・ファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects

軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験

（整理番号：30-3）

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題72. フェリング・ファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects

軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験

（整理番号：30-3）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題73. フェリング・ファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3,

Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects

軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験

(整理番号：30-3)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題74. フェリング・ファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects

軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験

(整理番号：30-3)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題75. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3 Study of Erdafitinib Compared With Vinflunine or Docetaxel or Pembrolizumab in Subjects with Advanced Urothelial Cancer and Selected FGFR Gene Aberrations

進行性尿路上皮癌及び特定のFGFR 遺伝子異常を有する被験者を対象にerdafitinib とvinflunine 又はドセタキセル又はペムブロリズマブとを比較する第III 相試験 (整理番号：30-5)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題76. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 3 Study of Erdafitinib Compared With Vinflunine or Docetaxel or Pembrolizumab in Subjects with Advanced Urothelial Cancer and Selected FGFR Gene Aberrations

進行性尿路上皮癌及び特定のFGFR 遺伝子異常を有する被験者を対象にerdafitinib とvinflunine 又はドセタキセル又はペムブロリズマブとを比較する第III 相試験 (整理番号：30-5)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題77. 日本イーライリリー株式会社の依頼による日本イーライリリー株式会社の依頼によるLY3074828の第III相試験 (整理番号：30-6)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題78. 日本イーライリリー株式会社の依頼による日本イーライリリー株式会社の依頼によるLY3074828の第III相試験 (整理番号：30-6)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題79. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 2/3, Randomized, Double-blind, Placebo- and Active-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Efficacy and Safety of Guselkumab in Participants with Moderately to Severely Active Crohn's Disease  
中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第II/III相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験（整理番号：30-7）

試験実施計画書等に基づき試験実施の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題80. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 2/3, Randomized, Double-blind, Placebo- and Active-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Efficacy and Safety of Guselkumab in Participants with Moderately to Severely Active Crohn's Disease  
中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第II/III相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験（整理番号：30-7）

安全性情報について試験責任医師の見解に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題81. 日本イーライリリー株式会社の依頼による日本イーライリリー株式会社の依頼による従来治療及び生物学的製剤が不良な中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたLY3074828の第III相試験（整理番号：30-10）

安全性情報について試験責任医師の見解に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題82. 日本イーライリリー株式会社の依頼による日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたLY3074828の第III相試験（整理番号：30-11）

安全性情報について試験責任医師の見解に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題83. アッヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤が奏功しなかった中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：30-13）

引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題84. アッヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤が奏功しなかった中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：30-13）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題85. アッヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤が奏功しなかった中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：30-13）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題86. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-067試験又はM16-065試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：30-14）

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題87. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-067試験又はM16-065試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：30-14）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題88. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-067試験又はM16-065試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：30-14）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘、内野 卯津樹委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題89. 株式会社新日本化学PPDの依頼による株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象としたSHP647の第三相導入療法試験（整理番号：30-16）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題90. 株式会社新日本科学PPDの依頼による株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象としたSHP647の第三相維持療法試験（整理番号：30-17）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題91. 株式会社新日本科学PPD の依頼による株式会社新日本科学PPD (治験国内管理人) の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎およびクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相継続投与試験 (整理番号: 30-18)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題92. 株式会社新日本科学PPDの依頼による株式会社新日本科学PPD (治験国内管理人) の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相導入療法試験 (整理番号: 30-19)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題93. 株式会社新日本科学PPDの依頼による株式会社新日本科学PPD (治験国内管理人) の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相維持療法試験 (整理番号: 30-20)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題94. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Phase 2b, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Safety and Efficacy of JNJ-64304500 in Subjects with Moderately to Severely Active Crohn's Disease

中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするJNJ-64304500の安全性及び有効性の評価を目的とした第2b相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、多施設共同試験

(整理番号: 30-21)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題95. セルジーン株式会社の依頼によるA PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験 (整理番号: 30-23)

治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題96. セルジーン株式会社の依頼によるA PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験 (整理番号: 30-23)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を

	<p>施することの妥当性について審議した。      審査結果：承認      ・山田 哲弘委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題97. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるA Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Phase 3 Study of Apalutamide in Subjects with High-risk, Localized or Locally Advanced Prostate Cancer Who are Candidates for Radical Prostatectomy      根治的前立腺全摘除術の候補である高リスクかつ限局性又は局所進行前立腺癌患者を対象としたapalutamideのランダム化、二重盲検、プラセボ対照第3相試験（整理番号：R1-1）      特に問題なく治験の実施が了承された。      審査結果：承認</p> <p>議題98. 中外製薬株式会社の依頼による中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたFaricimabの第III相試験（整理番号：R1-2）      説明文書・同意文書を修正の上、承認。      審査結果：修正の上で承認</p> <p><b>【報告事項】</b>      以下の治験終了について報告された。      議題99. 中等症の日本人活動期潰瘍性大腸炎患者を対象としたE6007の臨床第2相、プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験（整理番号：29-11）</p> <p>以下の開発の中止等に関する報告がされた。      議題100. 軽症及び中等症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象としたKAG-308探索的試験（整理番号：27-9）</p> <p>以下の迅速審査について報告された。      議題101. A Phase 2/3, Randomized, Double-blind, Placebo- and Active-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Efficacy and Safety of Guselkumab in Participants with Moderately to Severely Active Crohn's Disease      中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするゲセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第II/III相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験（整理番号：30-7）      治験実施体制の変更（2019年3月1日実施：承認）</p> <p>議題102. 中外製薬株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたR06867461の第III相試験（整理番号：30-15）      東邦大学医療センター佐倉病院 郵便番号の誤記修正に伴う治験実施計画書別紙2の変更（2019年3月15日実施：承認）</p> <p>議題103. A Phase 2b, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Safety and Efficacy of JNJ-64304500 in Subjects with Moderately to Severely Active Crohn's Disease      中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするJNJ-64304500の安全性及び有効性の評価を目的とした第2b相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、多施設共同試験（整理番号：30-21）      治験実施体制の変更（2019年3月15日実施：承認）</p>
特記事項	